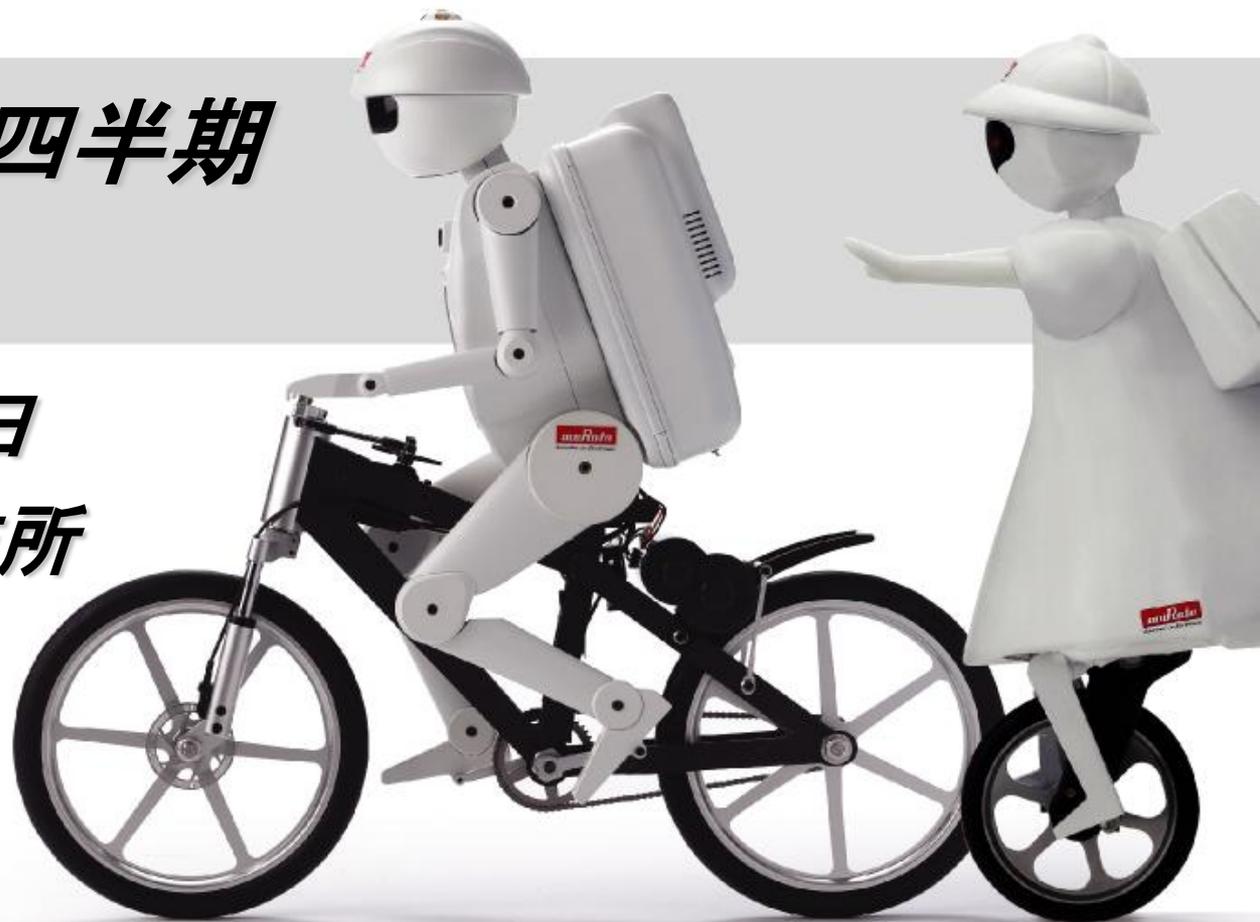


2011年度第2四半期 決算説明会

2011年10月31日
株式会社村田製作所



1. 2011年度 第2四半期業績概要

2011年4月～2011年9月
第2四半期連結累計期間

業績概況

	2010年度 上半期		2011年度 上半期				増減			
			第1四半期	第2四半期			直前四半期比 11Q2/11Q1		前年同期比 11年上期/10年上期	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	3,150	100.0	1,432	1,527	2,959	100.0	+94	+6.6	▲191	▲6.1
営業利益	463	14.7	172	138	310	10.5	▲34	▲20.0	▲152	▲32.9
税引前 四半期純利益	475	15.1	191	156	347	11.7	▲35	▲18.3	▲127	▲26.8
四半期純利益	311	9.9	142	94	237	8.0	▲48	▲33.8	▲74	▲23.8

製品別売上高

	2010年度 上半期		2011年度				増減			
			第1四半期	第2四半期	上半期		直前四半期比 11Q2/11Q1		前年同期比 11年上期/10年上期	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	1,142	36.4	558	541	1,099	37.3	▲18	▲3.2	▲43	▲3.7
圧電製品	460	14.7	191	205	396	13.4	+13	+7.0	▲65	▲14.0
その他 コンポーネント	603	19.2	282	292	574	19.5	+10	+3.7	▲29	▲4.9
通信モジュール	659	21.0	273	352	625	21.2	+80	+29.2	▲34	▲5.2
電源他 モジュール	274	8.7	123	131	254	8.6	+9	+6.9	▲21	▲7.5
製品売上高計	3,138	100.0	1,427	1,521	2,947	100.0	+94	+6.6	▲191	▲6.1

製品別売上高概況

(2010年度上半期→2011年度上半期)

コンデンサ (前年同期比▲3.7%)	<チップ積層セラミックコンデンサ> 携帯電話、カーエレ向けは、数量増と品種構成良化により好調も AV機器向けが振るわず、全体では若干減少
圧電製品 (前年同期比▲14.0%)	<表面波フィルタ> 携帯電話台数増とマルチバンド化による搭載点数増で、数量は大幅増も 値下がりと円高で金額は振るわず <セラミック発振子> コンピュータ及び関連機器、AV機器向けなどで低迷 <圧電センサ> ショックセンサ(HDD用)、超音波センサ(バックソナー用)が低調
その他コンポーネント (前年同期比▲4.9%)	<EMI除去フィルタ> コンピュータ及び関連機器向けで堅調も AV機器向けが大幅減で、前年同期を下回る <コイル> AV機器、カーエレ向けは減少も コンピュータ及び関連機器向けが伸び、全体では堅調 <コネクタ> タブレット端末向けを中心に大幅増
通信モジュール (前年同期比▲5.2%)	<近距離無線通信モジュール> 携帯メディアプレーヤー、車載向けは大きく減少となるも スマートフォン、タブレット端末向けで大幅増 <多層デバイス> 通信機器向けで減少
電源他モジュール (前年同期比▲7.5%)	<電源> AV機器、カーエレ向けは好調も、その他用途で振るわず

製品別売上高概況

(2011年度第1四半期→2011年度第2四半期)

<p>コンデンサ (直前四半期比▲3.2%)</p>	<p><チップ積層セラミックコンデンサ> カーエレ向けは堅調も、 コンピュータ及び関連機器向けが振るわず、全体では若干減少</p>
<p>圧電製品 (直前四半期比+7.0%)</p>	<p><表面波フィルタ> 携帯電話向けで大幅増 <アクチュエータ> ディーゼルエンジン向けが大幅増</p>
<p>その他コンポーネント (直前四半期比+3.7%)</p>	<p><コイル> 携帯電話向け等で増加 <コネクタ> スマートフォン、タブレット端末向けで大幅増</p>
<p>通信モジュール (直前四半期比+29.2%)</p>	<p><近距離無線通信モジュール> スマートフォン、携帯メディアプレイヤー、車載向け大幅増 <多層デバイス> 通信機器向けで大幅増</p>
<p>電源他モジュール (直前四半期比+6.9%)</p>	<p><電源> プリンタやコピー機向けを中心に増加</p>

用途別売上高

	2010年度 上半期		2011年度				増減			
	(億円)	(%)	第1四半期	第2四半期	上半期		直前四半期比 11Q2/11Q1		前年同期比 11年上期/10年上期	
(億円)			(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	
AV	429	13.7	151	174	326	11.1	+23	+15.4	▲104	▲24.1
通信	1,325	42.2	603	671	1,274	43.2	+68	+11.2	▲51	▲3.9
コンピュータ及び 関連機器	595	19.0	290	279	569	19.3	▲10	▲3.6	▲26	▲4.4
カーエレクトロニクス	395	12.6	188	210	398	13.5	+22	+11.4	+4	+0.9
家電・その他	394	12.5	194	186	380	12.9	▲8	▲4.1	▲14	▲3.5
製品売上高計	3,138	100.0	1,427	1,521	2,947	100.0	+94	+6.6	▲191	▲6.1

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2010年度上半期→2011年度上半期)



AV機器 (前年同期比▲24.1%)	＜携帯メディアプレイヤー＞ 無線LANモジュールが大幅減 ＜薄型テレビ＞ MLCC大幅減
通信 (前年同期比▲3.9%)	無線LANモジュール、MLCC増加 多層デバイス、表面波フィルタ、ワンセグチューナー減少
コンピュータ及び 関連機器 (前年同期比▲4.4%)	コネクタ、無線LANモジュール大幅増 電源、ショックセンサ大幅減
カーエレクトロニクス (前年同期比+0.9%)	MLCC、LTCC基板大幅増 アクチュエータ大幅減

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2011年度第1四半期→2011年度第2四半期)

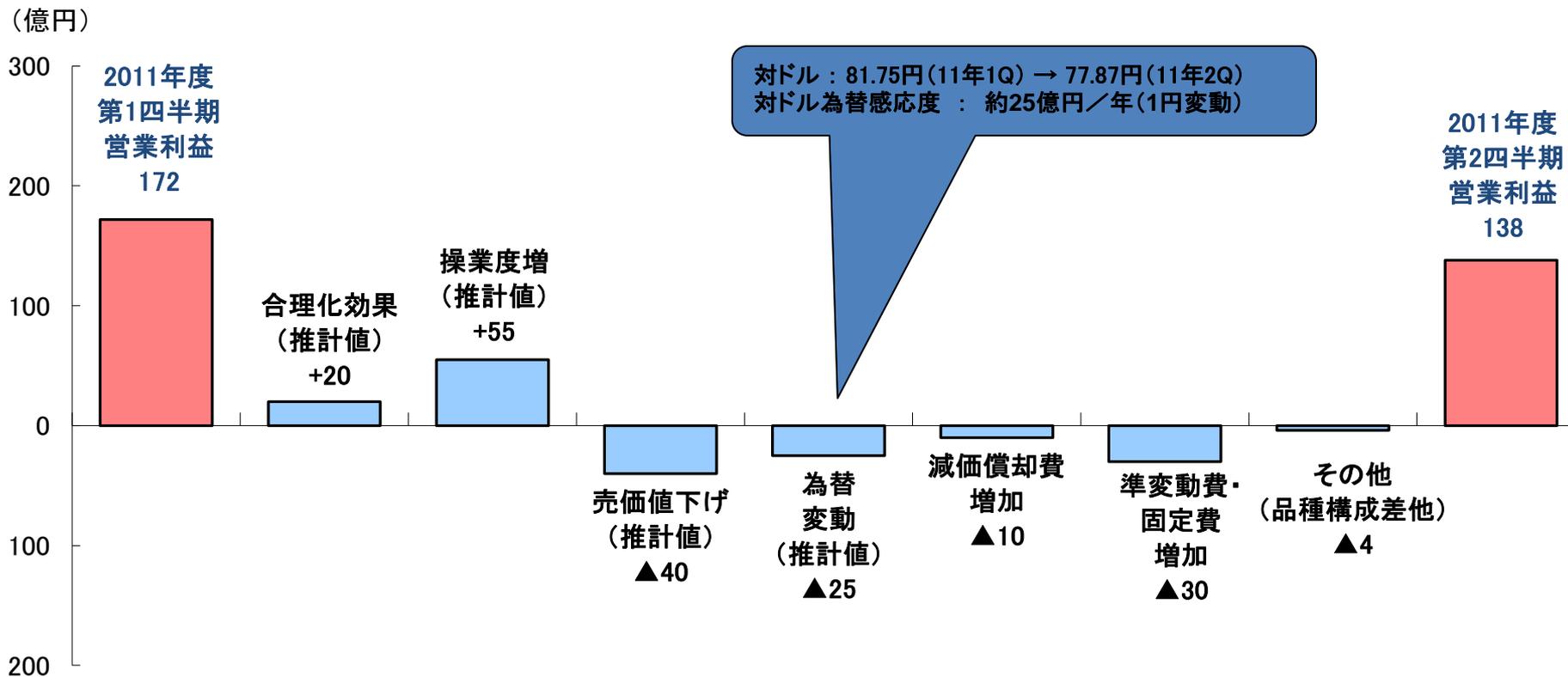


AV機器 (直前四半期比+15.4%)	<携帯メディアプレイヤー> 無線LANモジュールが大幅増
通信 (直前四半期比+11.2%)	無線LANモジュール、表面波フィルタ、コネクタ、多層デバイス大幅増
コンピュータ及び 関連機器 (直前四半期比▲3.6%)	無線LANモジュール、電源が大幅増 MLCCが大幅減
カーエレクトロニクス (直前四半期比+11.4%)	MLCC、Bluetoothモジュール、アクチュエータ大幅増

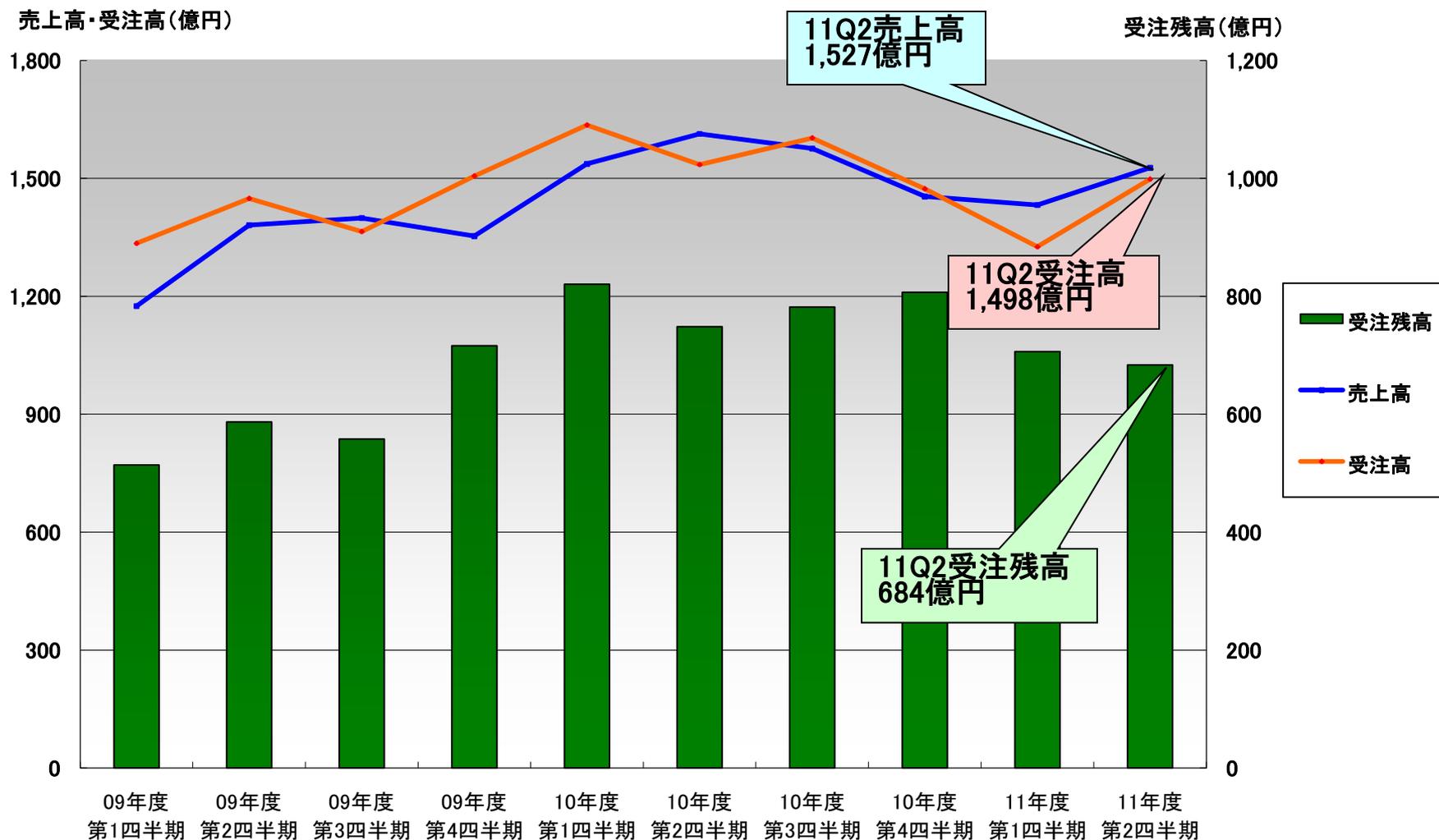
(注) 当社推計値に基づいております

利益変動要因

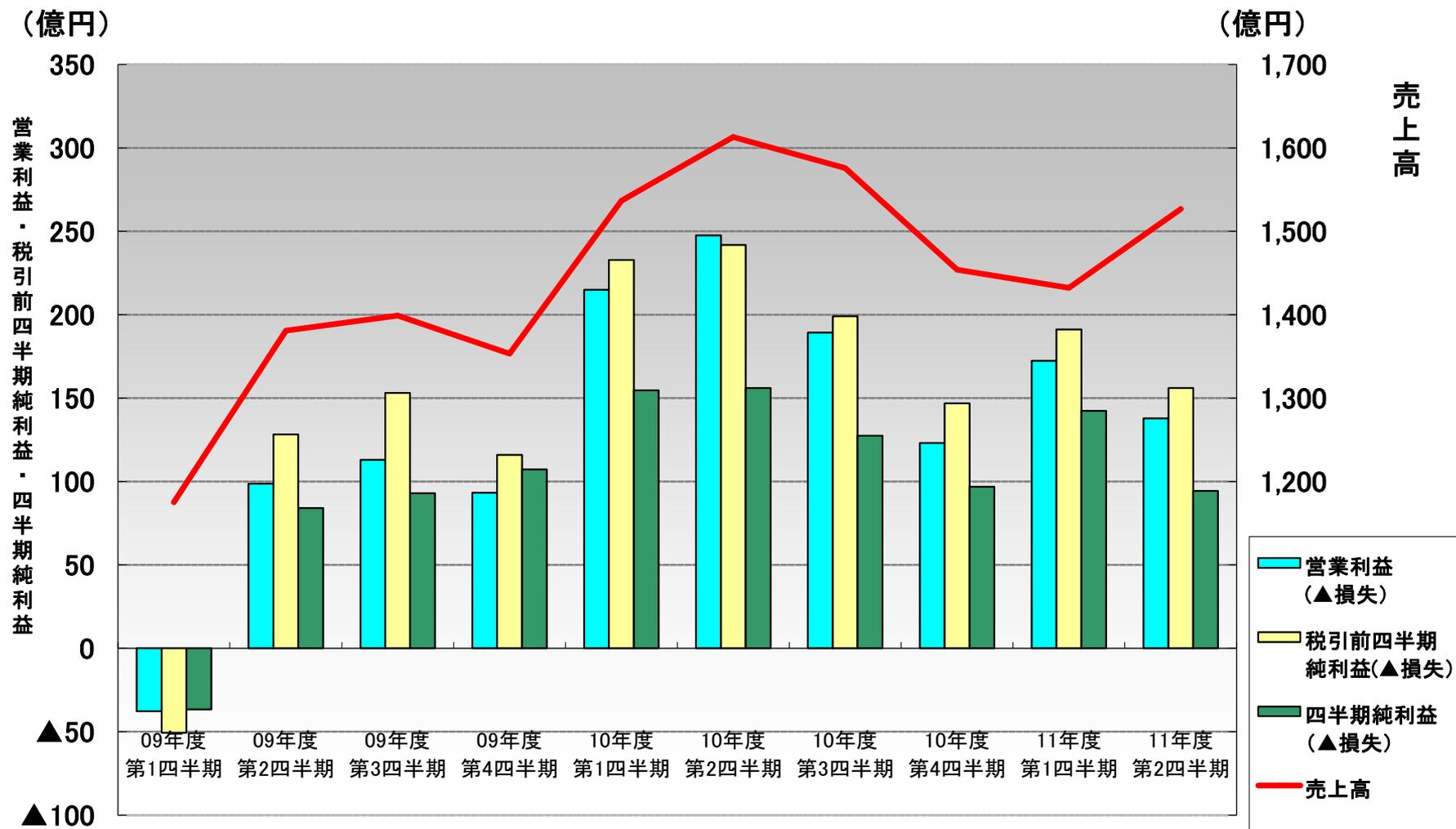
(2011年度第1四半期→2011年度第2四半期)



売上・受注・注残推移(四半期)



業績推移(四半期)



2. 2011年度 業績予想 (2011年4月～2012年3月)

製品別売上予想

	2011年度 通期予想 (前年度比)	2011年度 下期予想 (上期比)
コンデンサ	▲3%程度	▲4%程度
圧電製品	▲7%程度	+4%程度
その他コンポーネント	横這い	+4%程度
通信モジュール	▲2%程度	+17%程度
電源他モジュール	▲7%程度	▲8%程度
計	▲3%	+3%

用途別売上予想

	2011年度 通期予想 (前年度比)	2011年度 下期予想 (上期比)
AV	▲18%程度	横這い
通信	横這い	+10%程度
コンピュータ及び 関連機器	▲3%程度	▲5%程度
カーエレクトロニクス	+4%程度	+7%程度
家電・その他	横這い	▲10%程度
計	▲3%	+3%

(注) 当社推計値に基づいております

業績予想の前提

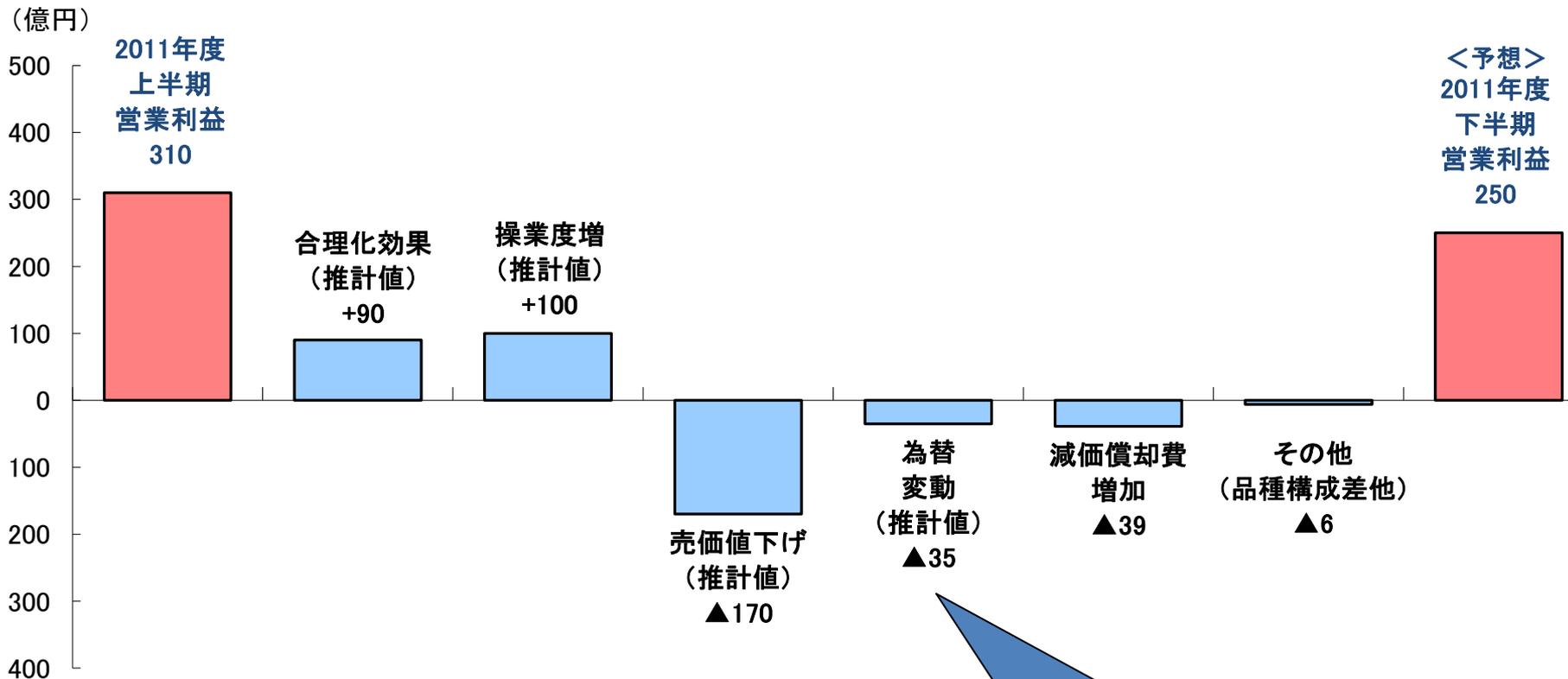
	2011年度 上期実績	2011年度 下期予想	2011年度 通期予想
減価償却費	285億円	325億円	610億円
研究開発費	200億円	200億円	400億円
設備投資額	337億円	363億円	700億円
為替レート(US\$)	79.81円/US\$	77.00円/US\$	
為替レート(EUR)	113.78円/EUR	105.00円/EUR	

2011年度 業績予想

	前回予想(11年4月)			今回予想					
	2011年度			2011年度					
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績		下期予想		通期予想	
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	3,100	3,400	6,500	2,959	100.0	3,041	100.0	6,000	100.0
営業利益	400	440	840	310	10.5	250	8.2	560	9.3
税引前 当期純利益	430	460	890	347	11.7	273	9.0	620	10.3
当期純利益	280	300	580	237	8.0	183	6.0	420	7.0

利益変動要因

(2011年度上半期→2011年度下半期予想)



対ドル：79.81円(11年上半期) → 77.00円(11年下半期)
対ドル為替感応度：約25億円/年(1円変動)

1. 目的

<村田のセンサ事業の強化>

- ① 車載、産業、メディカル用MEMSセンサ商品獲得による
商品ラインナップの拡充
(中期経営計画で掲げる新規市場への取り組み強化)
- ② 同社のMEMS技術・商品と村田の顧客基盤による
民生市場向けジャイロセンサ、加速度センサの販売強化

2. VTI社の商品ラインナップ

- ① 車載市場向け
ESC、ABS等の車体制御用加速度センサおよび
加速度・ジャイロコンボセンサなど
- ② 産業・メディカル向け
産業機器向け傾斜センサ、
メディカル機器用加速度センサなど
- ③ 民生市場向け
3軸ジャイロセンサ、3軸加速度センサ

3. 今後のスケジュール

法令等に基づく許認可取得後、2012年4月までに完了予定

ルネサス エレクトロニクス株式会社からの PA事業の譲受に関する最終契約締結について



2011年10月31日の取締役会において 事業譲受を決議し、最終契約を締結

1. 目的

パワーアンプ(PA)を含めたアナログフロントエンドの複合化による村田の通信モジュール事業の強化

2. 対象

- ルネサス エレクトロニクス(株)のパワーアンプ事業
- (株)ルネサス東日本セミコンダクタの長野デバイス本部の事業(受託生産事業含む)

3. 事業譲受日

法令等に基づく許認可取得後、
2012年2月1日を目標に完了予定

2011年度(2012年3月期)の配当(予定)
1株当たり年間100円(うち中間配当50円)

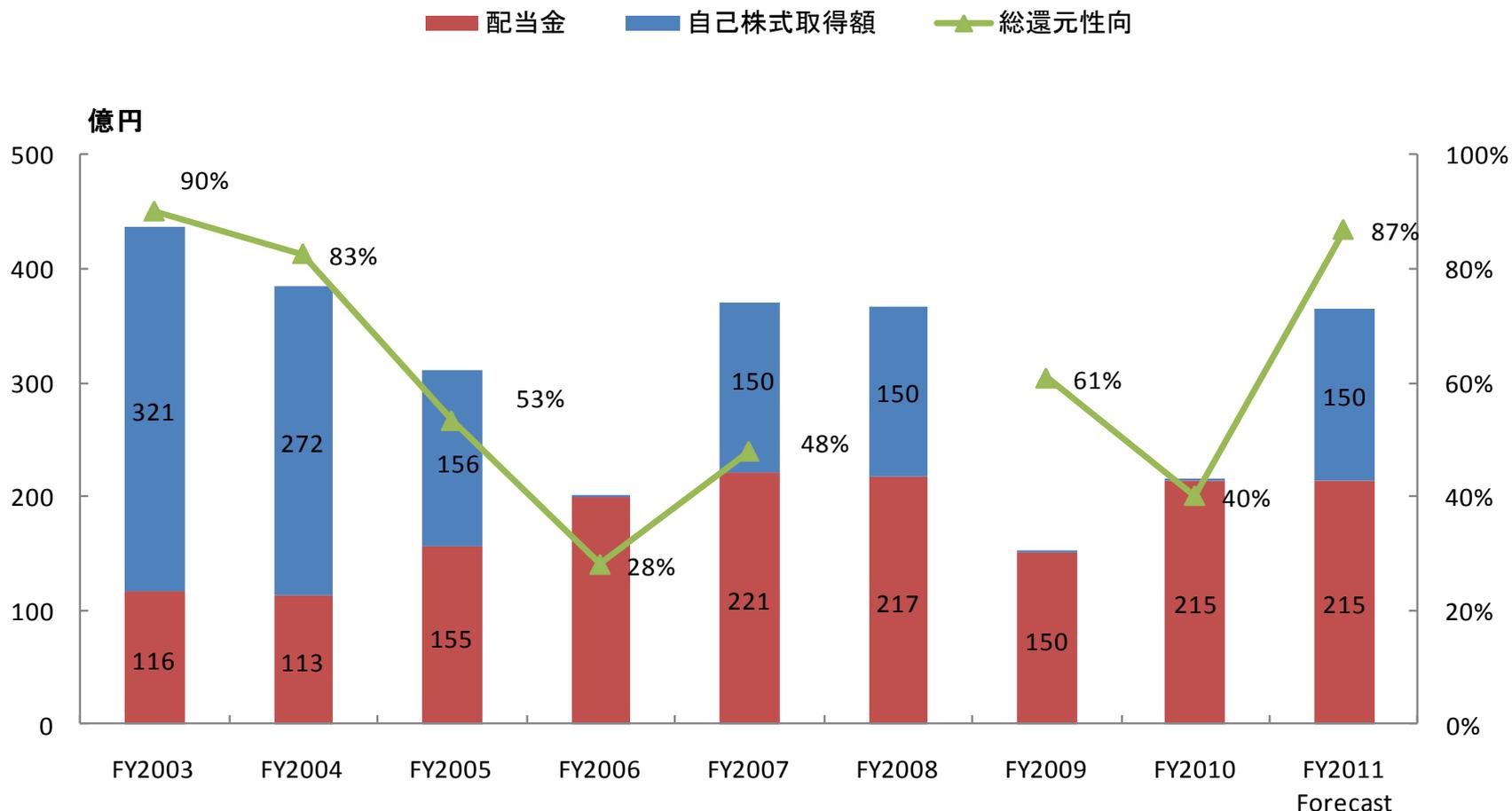
2010年度の配当実績
1株当たり年間100円(うち中間配当50円)

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。

2011年10月31日取締役会において自己株式取得の決議

- ・取得株式数: 400万株(上限)
(発行済株式の1.9%)
- ・取得金額: 150億円(上限)
- ・取得期間: 2011年11月2日～12月22日

株主還元推移



利益還元策としては、配当による配分を優先的に考え、1株当たり利益を増加させることにより配当の安定的な増加に努めます。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。